



5月 3・4・5歳児

クラスだよ



国立ひまわり保育園
令和8年4月30日

《 3歳児 もも組 》

- ・生活リズムを整え、安心してのびのびと過ごす。
- ・保育者や友達と一緒にのびのびと戸外遊びを楽しむ。
- ・生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でしようとする。

園庭、保育室と自分の「今」遊びたい場所を自ら選んで遊ぶことができおり、一人ひとりの子どもたちが、それぞれ自分の好きな遊びを見つけて夢中になって遊んでいます。園庭では泥遊びや虫探し、室内では廃材などを使った工作やおままごとなどの表現遊びなどに深く遊び込む姿を見せています。どの遊びでも、頭の中でたくさんのイメージを広げて遊ぶ姿が印象的で、さらにそれを子ども同士で少しずつ共有し、対話をしながら一緒に遊ぶ姿も見られるようになってきています。そんな子どもたちの「遊びの中で広げられる対話の様子」を、作ったものや写真、ドキュメンテーションなどをクラスに貼るなどして子どもたちが見ながら振り返れるようにしていきます。



《 4歳児 ぶどう組 》

- ・保育者や友達と一緒に散歩や遠足を楽しむ。
- ・生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でやろうとする。
- ・戸外で身近な春の自然にふれたり、関わったりして遊ぶ。

ぶどう組に進級し、あっという間に1ヶ月経ちました。新しいお部屋でのお支度や生活の流れにすっかり慣れ、子ども達自らやってみようとする姿がみられるようになりました。「お片付けのできるぶどう組さんになりたい!」という子ども達の言葉から、子ども達と相談し、収納ケースにおもちゃの写真を付け、片付けがしやすい環境を整えました。「自分も、次の人も使いやすいよね。」「おもちゃがなくならないね」と、何故、片付けが必要なのか気づく姿もみられました。「みんなが楽しく遊べるお部屋」「みんなが安心して過ごせるお部屋」これから、子ども達と相談しながら、「みんなのための」お部屋を作りたいです。



《 5歳児 すいか 組 》

- ・身近な動植物に関心をもち、自ら関わったり、飼育や栽培をしたりして、親しむ。
- ・友だちと、それぞれ自分の言葉で、思いや考えを伝え合って遊びを発展させていく。
- ・自分の思いや考えを主張したり、相手の思いを受け入れたりしながら過ごす。

すいか組になって約一か月。日々を楽しく過ごしていく中でも、年長児としての自覚を持ち、他クラスの子たちと関わっている姿が多く見られます。初めての園生活や、慣れない環境に、ドキドキしている年下の子に対して、手をつないで遊びに誘ってあげたり、「リュックはここにかけるんだよ、いっしょにやってみようか」と目線を合わせて伝えていくやさしい姿がいたるところで見られました。引き続きこどもたちのやさしい気持ちを尊重し、共有していく中で思いやりにあふれるすいかぐみに成長していけたらなと感じています。

最近は、「遠足」という言葉がクラス内で飛び交っており、「のうさぎみたいよね」「らいおんばすのったことあるよ」と遠足に期待を持っている様子があります。遠足までは「体力づくり」や「交通ルールを守りながら歩く」ことを目的として戸外活動をたくさん行っていきたいと思います。



《お知らせ》

衣服、靴、オムツ、エプロンなど保育園で使用する全ての持ち物にご記名をお願いいたします。

爪が長いと自分やお友だちを傷つけてしまう可能性がありますので、長くないか、引っかからないか、尖っていないかなど、こまめに確認をお願いいたします。

